

ナシ病害虫の発生状況（7月4～5半旬） 調査地点：中通り19園地、浜通り10園地

(1) ナシ黒星病

発生ほ場割合は、新梢葉、果実ともに、平年並でした（図1、2）。

発病部位は伝染源になるため除去し、園外に持ち出して適切に処分しましょう。

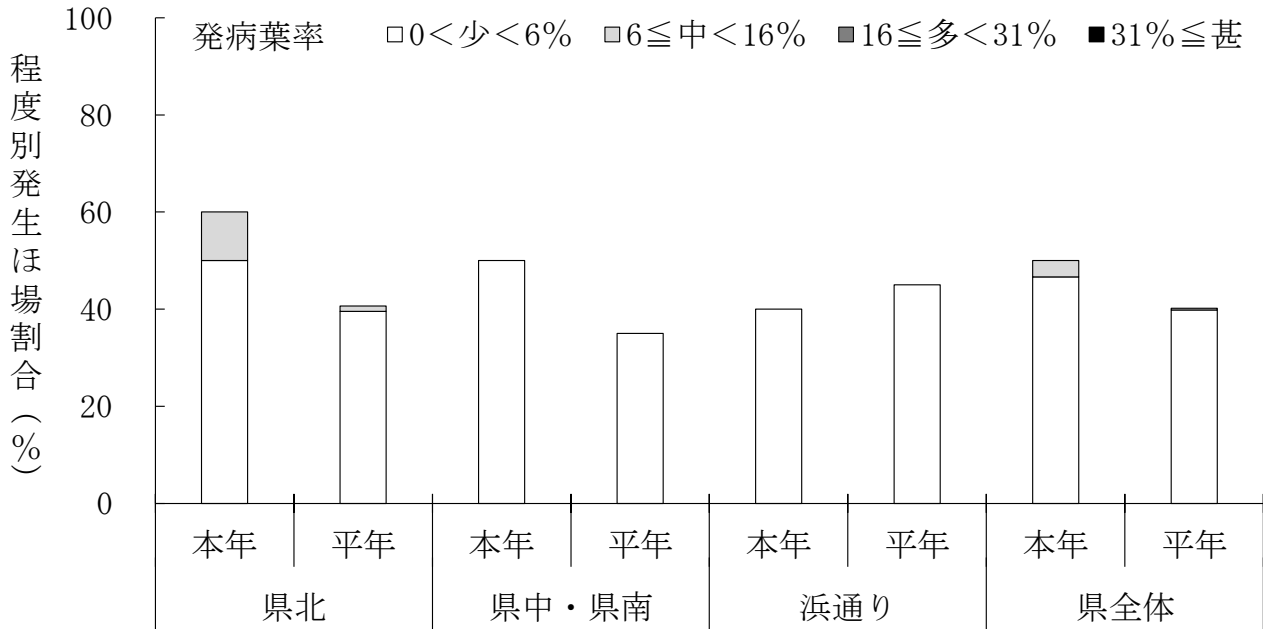


図1 ナシ黒星病の発生状況（新梢葉）

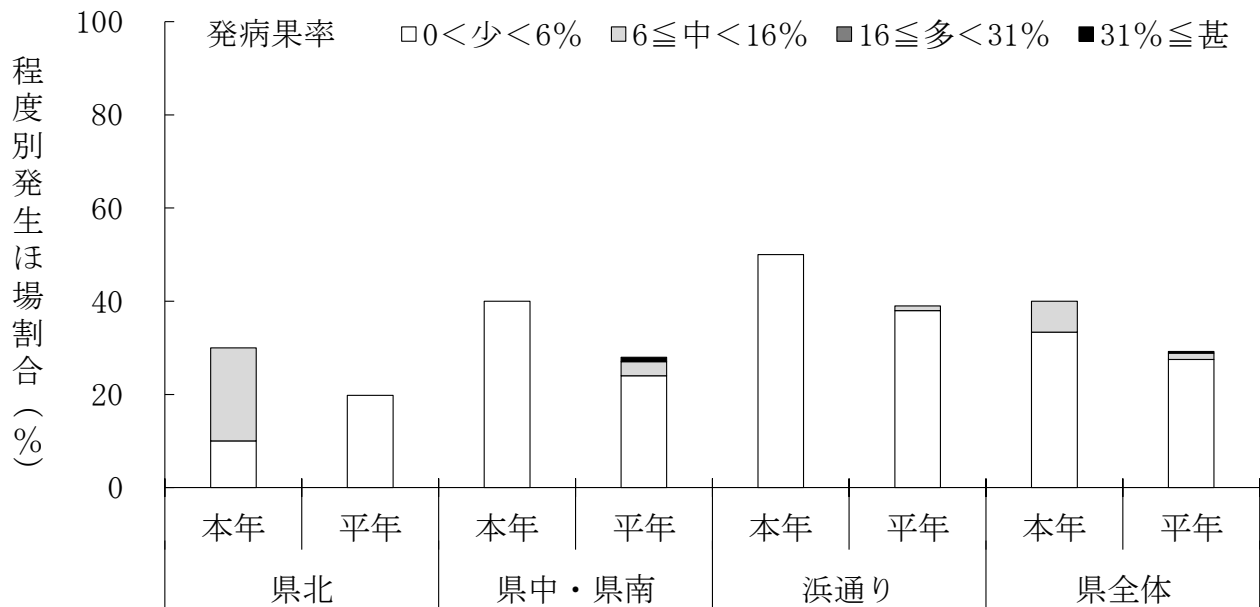


図2 ナシ黒星病の発生状況（果実）

(2) ハダニ類

新梢葉での寄生ほ場割合は、平年並でした（図3）。

園地での発生状況をよく観察し、要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達した場合は、薬剤散布を実施しましょう。

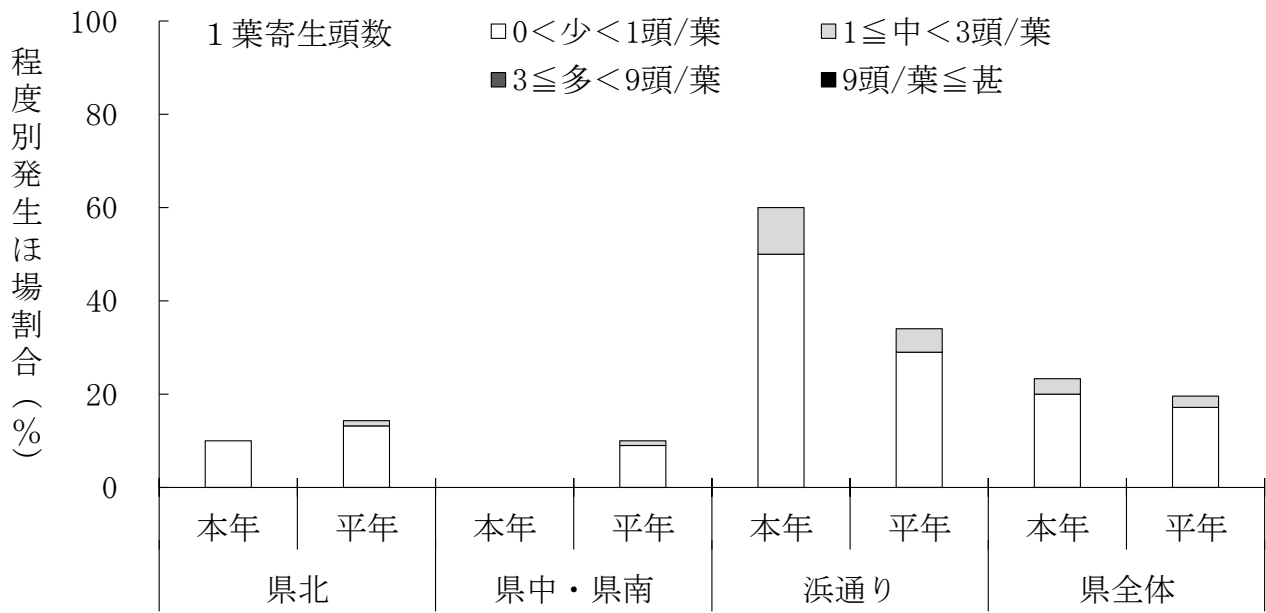


図3 ハダニ類による新梢葉での寄生状況

### (3) 果樹カメムシ類

果実被害の発生ほ場割合は、浜通りでは平年よりやや高い状況でした(図4)。中通りでは被害が確認されませんでした。

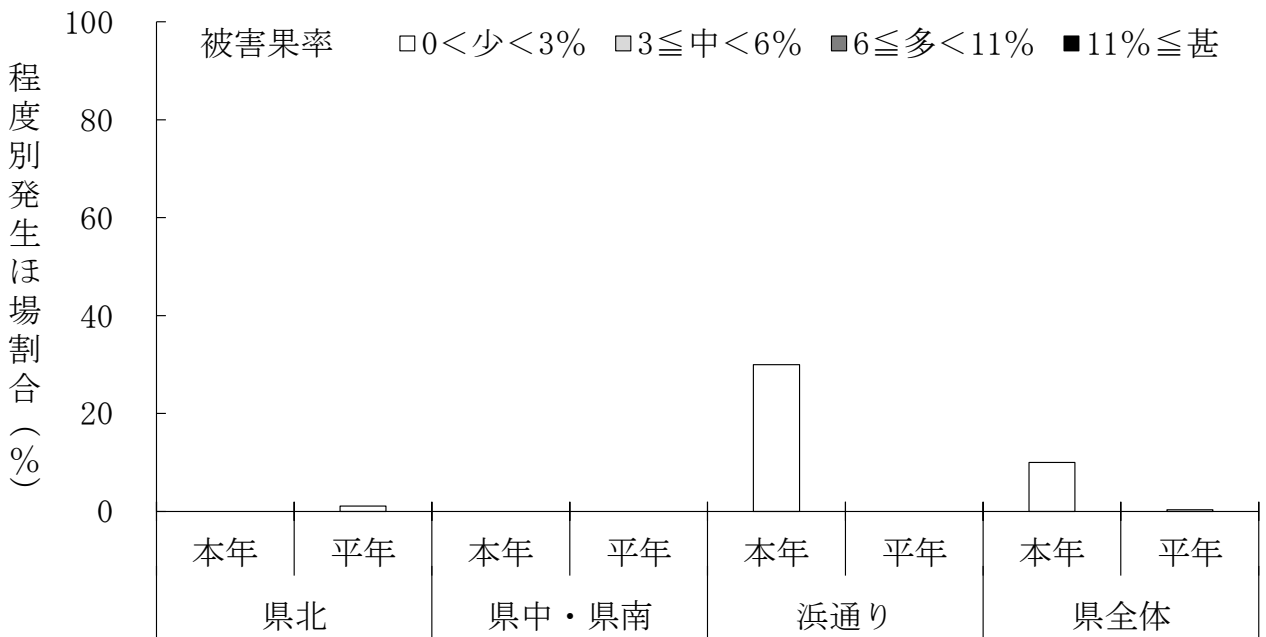


図4 カメムシ類による果実の被害状況(7月中下旬)